

2012年4月1日

高体連関係各位

全国高体連サッカー専門部
部 長 横田 智雄
審判委員長 抱山 公彦

ジャージ（シャツ）の裾出しについて

先般、2012年2月28日に日本サッカー協会審判委員会より表題に関する通達文（審 1203-M0045）が出されました。

このことを受けまして、全国高体連サッカー専門部としては、標記の件につきまして下記の通り対応することと致しましたので、都道府県高体連ならびにチームへの周知徹底を図られるようお願いいたします。

記

1. 下記の時間帯に関してはジャージ（シャツ）の裾を出さないこととする。
 - 1) 試合前、競技者がピッチ内に入場するときから前半のキックオフまでの間。
 - 2) 後半のキックオフ時。
 - 3) 延長戦の前・後半のキックオフ時。
 - 4) 交代要員が競技者としてピッチに入るとき。
 - 5) 試合終了後のペナルティマークからのキックが行われている間。
（ただし、キックの進行中にGKのジャージが出てしまった場合を除く）
 - 6) 試合終了後、整列・挨拶・握手をするとき。
2. 上記1について審判員がシャツを入れるよう指示をすることはないので、チームならびに競技者の責任において遵守すること。

追加

* 高体連としての考え方

競技者がジャージ（シャツ）を出してプレーすることを積極的に奨励するものではありません。

以上